



No. 171 

2019年2月1日発行

議会だより

はが

12月議会定例会

定例会の概要	2～3
議会閉会中の所管事務調査	4～5
一般質問	6～10
研修報告	11
視察来訪	12
聲<こえ>私のいいたいこと	13
議会日誌・編集室	14

12議案を可決

第4回 芳賀町議会 定例会

の要 例会 定概

平成30年第4回芳賀町議会定例会が12月3日から6日までの4日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受けました。また、一部議案の質疑・討論・採決、同意案件の採決を行いました。

一般質問は第3日目の12月5日に行われ、4人の議員が町政について質問しました。

第4日目は、第1日目に採決した案件を除く全ての議案の質疑・討論・採決と、各常任委員会の事務調査報告がありました。そして、議案の追加上程があり、町長の提案理由の説明を受け、質疑・討論・採決を行い、閉会しました。

平成30年第4回芳賀町議会定例会提出議案

同意

□人権擁護委員の候補者の推薦について

平成31年3月31日付けをもって任期満了になる小宮隆子氏の後任に塚原康雄氏(祖母井)を最適任者として推薦することを議員全員が同意しました。

変更

□字の区域の変更について

祖陽が丘団地宅地造成事業の施行の結果、事業実施後の現況に符合しない字の区域が生じたため、字の区域の変更を行なうもの。(質疑・討論なし、原案可決)

条例改正

□芳賀町特別会計条例の一部改正について

芳賀町祖母井南部土地区画整理事業特別会計について、特別会計として経理する必要がなくなることから、特別会計を廃止し、一般会

計に引き継ぐため、条例の一部を改正するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町都市計画税条例の一部改正について

近隣自治体の都市計画税の課税状況や現在の社会経済状況を鑑み、平成31年度について、引き続き都市計画税の税率を10分の0.2とするもの。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

平成30年人事院勧告に伴う特別職の国家公務員の給

与改定に準じて、期末手当の平成30年12月期の支給月数を0.05月分引き上げるもの。

平成31年4月からは、この引き上げ分を0.025月ずつ6月期と12月期に割り振るもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町職員の給与に関する条例及び芳賀町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について

平成30年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じて、給料月額を平成30年4月に遡及し、平均0.2%引き上げるもの。勤勉手当

については、平成30年12月期の支給月数を0.05月分引き上げ、平成31年4月からは、この引き上げ分を0.025月ずつ6月期と12月期に割り振るもの。また、宿日直手当についても、200円引き上げ、4400円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について

県内医療機関等受診分に対する現物給付の対象を中学生まで拡大するもの。また、ひとり親家庭医療費、重度心身障害者医療費助成対象となっている小中学生



▲塚原康雄氏



条例改正・補正予算など

人権擁護委員に塚原康雄氏を推薦

もこども医療費助成の対象になることから、それぞれの条例から現物給付に関する条項を附則において削除するもの。

【質疑】 杉田貞一郎議員
(討論なし、原案可決)

□議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
平成30年人事院勧告に伴う国の特別職の給与に関する法律の改定に伴い、議会の議員の期末手当についても、平成30年12月期の支給月数を0.05月分引き上げるもの。平成31年4月からは、6月期、12月期をそれぞれ1.675月に改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

補正予算

□平成30年度芳賀町一般会計補正予算(第3号)
総額に7402万7千円を追加し、予算総額を76億4302万8千円とするもの。

【質疑】 増渕さつき議員、杉田貞一郎議員
(討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
総額に96万8千円を追加し、予算総額を19億598万2千円とするもの。

【質疑】 増渕さつき議員
(討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第3号)
保険事業勘定の総額の増減はなく、歳入、歳出予算を組み替えるもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)
総額に587万6千円を追加し、予算総額76億4890万4千円とするもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

【質疑】 増渕さつき議員、杉田貞一郎議員
(討論なし、原案可決)



一般会計補正予算(第3号)の主な歳入歳出

歳入

項目	補正額
国庫支出金	障害者自立支援給付費負担金 707万6千円
	障害児施設措置費負担金 153万円
県支出金	障害者自立支援給付費負担金 353万3千円
	障害児施設措置費負担金 76万5千円
	祖母井中央地区整備事業にかかる公共施設管理者負担金 910万円
繰越金	前年度繰越金 5,085万円

歳出

項目	補正額
総務費	振興計画の中期基本計画策定にかかる基礎調査業務 111万5千円
	祖陽が丘団地内、光ケーブル増設工事の設計変更による増額 284万円
民生費	障害福祉サービスの利用者増加に伴う扶助費 1,842万3千円
衛生費	祖母井北部地区の配水管布設替工事の負担金 659万4千円
農林水産業費	農業用廃プラスチック回収処理事業費補助金 122万1千円
	上稲毛田地区の水路改修工事費 129万6千円
土木費	祖母井中央地区整備事業に伴う移転補償費 990万円
	宇都宮ライトレール株式会社への増資 3,468万円
	定住促進補助金 600万円
教育費	海洋センターの温水プール熱交換設備修繕工事費 105万9千円

議会閉会中の所管事務調査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は、所管する事務について自主的な調査を行い、12月議会に調査結果を報告しました。

総務常任委員会

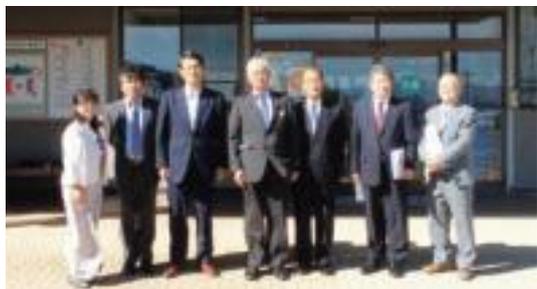
□調査事項 芳賀チャンネルの運営方法について

□調査の目的 芳賀チャンネルの運営方法を検討するため、先進的な実例でケーブルテレビの民間委託を進めている山梨県北杜市を視察し、調査研究する。

□行政視察 山梨県北杜市



▲北杜市での視察の様子



▲北杜市役所前にて

教育民生常任委員会

□調査事項 ①シティズンシップ(市民性)教育とICTを活用したスマート教育について

②介護予防について

□調査の目的 ①シティズンシップ(市民性)教育への取り組みとICTを活用したスマート教育の導入に向け、先進的な実例を調査研究する。
②どのような活動が介護予防につながるのか、先進的な実例を調査研究する。

□行政視察 ①東京都品川区、埼玉県富士見市
②NPO法人グループたすけあいエプロン



▲品川区での視察の様子



▲富士見市での視察の様子

産業建設常任委員会

□調査事項 遊水地の有効活用について

□調査の目的 遊水地の有効活用については、地域住民の憩いの場となる公園整備や誘客施設としての周辺整備など多様な形をとる施設の整備活用をより良くするため、同様な事例を調査研究する。

□行政視察 栃木県栃木市、神奈川県横浜市



▲栃木市での視察の様子



▲栃木市での視察の様子



▲芳賀チャンネル撮影の様子



▲指定管理業者の宇都宮ケーブルテレビ

□調査の意見と提言

①芳賀チャンネルの運営には、制作に係る費用の他に各設備の更新費用も含めて考える必要がある。光ケーブルの耐用年数は概ね15年から20年、放送用の機器類は10年程度と見込まれている。設置当時の試算では光ケーブルの張替えに4億程度の費用が見込まれている。このような中で、設備の更新を含めた全ての運営を民間に移管し芳賀チャンネルの放送を行うことによる経費削減の効果は考えられるので、手法等についての検討、研究を進める必要がある。

②番組の放送については町民と職員とのコミュニケーションによる放送スタイルは好評であり芳賀チャンネルの財産となっている事は高く評価するもので、今後とも現在の運営方法を継続した中で、指定管理者制度等による運営を実施されたい。

□委員

大島浩、大根田弘、石川保、北條勲



▲エプロンでの視察の様子



▲コミュニティCafe花の丘(エプロンの施設)前にて

□調査の意見と提言

①シテイズンシップ教育は公的・社会的・経済的分野での活用に必要な「知識」、社会の中で他者と協働し能動的に関わりを持つために必要な「意識」、多様な価値観で構成される社会に参加するために必要な「スキル」を醸成するためのものであり、国や本町の教育に欠けている部分である。また、ICTを活用したスマート教育は公務支援・学習支援の分野で各行政において、教育現場の課題である業務の負荷増大と教育効果の低下の打開策として積極的に取り入れられている。両教育を効果的に取り入れ本町の将来世代の人材育成を図りたい。

②介護保険制度は平成12年に創設され18年近く経ち、必要とする多くの高齢者に活用され、定着してきた。本町においての高齢化率は全国を上回る30%となっており、今後の課題として保険料の高騰と介護人材の確保がある。

町での「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向け、介護支援ボランティア制度の導入や福祉を担うNPO法人設立の機運を醸成する施策を講じられたい。

□委員

水沼孝夫、岡田年弘、小林隆志、岩村治雄、増淵さつき



▲栃木市渡良瀬遊水地内施設前にて



▲横浜市での視察の様子

□調査の意見と提言

渡良瀬遊水地と和泉遊水地を調査したが、いずれの遊水地においても洪水から守る治水機能だけでなく、遊水地を活かした町づくり・地域づくりの方策を策定し有効に活用されている。河川管理者から町が占用許可を得れば、更に有効活用が可能と推測されるので、今後、スポーツ推進員や各団体などの意見を反映し、遊水地を活かしたランドデザインを早急に策定されたい。

□委員

小林信二、小林俊夫、杉田貞一郎、小林一男、大根田周平

※各委員会の所管に関する事務

- 総務常任委員会：総務課・企画課・税務課・会計課・議事事務局・監査委員・選挙管理委員会に関する事務
- 教育民生常任委員会：住民課・福祉対策課・健康増進課・環境対策課・こども育成課・生涯学習課に関する事務
- 産業建設常任委員会：農政課・商工観光課・建設課・都市計画課に関する事務

ここが聞きたい 4人の議員が一般質問

一般
質問

第3日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。



北條 勲 議員 (7ページ)

- ① 以前の回答について詳細を伺う
- ② NIE教育について
- ③ スクールバスの混乗化について



大島 浩 議員 (8ページ)

- ① 生涯学習センター水橋分館の改修について



水沼 孝夫 議員 (9ページ)

- ① 行政の人口減少・少子化対策不足による町の未来崩壊について



増淵 さつき 議員 (10ページ)

- ① 認知症対策の推進について
- ② 子育ての充実について

一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は3月4日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日	午後8時から
再放送	翌日の午後2時から



北條 勲 議員

一般質問

答弁で検討します。その後の結果について

問 ① ホームページの更新は。

② 町民の歌の放映は。

③ ウォームビズは。

④ 学校の全トイレの洋式化は。

⑤ お盆中の学校閉庁

は。

⑥ 選挙の投票時間の短縮は。

答 町長

① 来年度以降利用しやすいよう改修します。

② 芳賀タウンインフォメーションで背景音楽を流しています。

③ 当面ウォームビズ実施の予定はありません。

教育長

④ 学校から洋式化への要望はありませんので完了したとの認識です。また、災害時には簡易トイレで対応します。

⑤ 8月13日から16日までの4日間を閉庁しました。

⑥ 選挙管理委員会や自治会連合会でも協議をしましたが、結論はできていません。慎重に考えます。

選挙管理委員長

⑥ 選挙管理委員会や自治会連合会でも協議をしましたが、結論はできていません。慎重に考えます。

考えます。

問 今後は検討しますと答弁をした場合の報告は。

答 総務課長

質問をした議員には、庁議で協議をした結果を連絡します。

議で協議をした結果を連絡します。

NIE教育について

問 学校教育で新聞を教材として利用する学習活動は。

る学習活動は。

答 教育長 当町でも夏休みに総合情報館や町民会館で地元新聞社の協力をいただき、

出前講座を実施しました。今後も学校教育において新聞の活用を促します。

スクールバスの混乗化について

問 スクールバスに住民が児童と一緒に乗れる制度である。登校時だけでも芳賀北と南小学校のバスは空車で祖母井に戻るの

で、住民を乗せれば、役場・買い物・病院などにも行けます。実施できな

いか。

答 こども育成課長

混乗化を実施している自治体は、公共交通の空白地域があり住民の移動手段が確保できない理由からです。当町ではデマンド交通で対応していますので現時点で混乗化の予定

はありません。

問 問合い利用とは、スクールバスの登校時間帯以外をコミュニティバス化して町民に交通のサービスを提供することである。LRTは3年半後に開通する計画だが、芳賀工業団地管理センターまでバス会社でも、登下校以外の時間を営業できれば、運転手や車の効率も良くなりま

す。特に収入がない学生には経費節減になるが、いかがか。

答 都市計画課長

LRTに向けて公共交通の見直しに取り組んでいます。まずは、民間のバス会社とタイアップして、いかに乗りやすい環境をつくるかを第一に考えています。その次に、デマンド交通や問合い利用も含めて検討します。

現時点で混乗化の予定





大島 浩 議員



▲水橋分館

生涯学習センター水橋分館の改修について

問 水橋分館の改修について伺う。

答 町長 ①水橋分館の整備方針については、水橋地区の生涯学習の拠点として、市民の皆様は快適に利用していただけるよう施設の改修工事を適切に行っています。

ただし、建築から40年余りが経過し、ご指摘のとおり老朽化が進んでおり修繕が必要な箇所もふえています。現在のところ、大規模

な改修はありませんが、災害時に対応できるように避難時に優先される部分の改修を計画的に進めています。

②水橋分館は、防災上重要な町有建築物であり指定避難所としての位置づけをしています。避難所については、地震や風水害など発生した災害状況に対応できる適切な施設を慎重に判断して、その都度避難所指定をしています。水橋分館に限らず、

公共施設は避難場所として活用できるように平常時より衛生面には万全の注意を払って施設管理を行い、さらに、災害発生時には、芳賀町地域防災計画に従って衛生面を確保し、飲料水や食料を確保します。

問 町の総合検診は、水橋分館を拠点にして、どれぐらいの利用率があるのか伺う。

答 健康増進課長 総合検診では6月と9月と10月、それぞれ2日ずつ、年計6回総合検診を実施しております。例年ですと、900人を超える受診者の方に利用していただいています。

問 水橋分館は、避難所として指定されているが、老朽化が激しいため建て替えも含めて整備の検討時期などを伺う。

答 町長 平成31年度に中期計画を策定するため、その中で復興計画に織り込んで検討に入る予定です。

水橋分館は生涯学習の拠点、避難所であり、生涯学習の拠点だけではなく、中期計画の中でより具体的な方向性を示す時期に来ていると思っています。



▲水橋分館アコーディオン式扉のトイレ

行政の人口減少・少子化対策不足による町の未来崩壊について

一般質問



水沼 孝夫 議員

問 国の地域別将来推計人口によると芳賀町の人口は2045

年、26年後に現在の1万5000人から6607人減って9122人になり、約40%も人口が減ると予測されている。5年前の前回調査よりさらに減少率が悪化しており、このままではいずれかの時点で町の未来崩壊につながる。少子化・出生率の改善、社会保障費の将来負担、町の将来像

について伺う。

答 **町長** 人口推計に対する詳しい考察を今年度中に進める予定です。合計特殊出生率については緩やかな回復傾向にあり、国・

県の総合戦略と一体となって改善に努めていきます。社会保障費は国保、介護保険の財源が逼迫するなど上昇し、生産年齢人口の減少により町の財政構造に大きな影響が想定されます。将来像については、次期4年間の中期計画を平成31年度に策定します。人口減少社会にあっても持続可能なまちづくりを進めるため、今後とも努力していきます。

問 大阪の守口市では0歳児から5歳児

の幼稚園・保育園等の利用者負担を親の所得

に関係なく無償にする取り組みを始めた。結果1年で子供が128人増えて、20代の男女が363人も増えた。芳賀町ではこういった思い切った政策は考えられないか。LRTは造ることが目的ではなくLRTを活用してどういう町づくりをするかが問題であるがいかがか。

答 **企画課長** LRT事業、祖陽が丘、土地改良の推進が独自性のある事業と認識しています。LRTの活用は十分認識しているが現時点では全庁的な協議が出来ていません。来年以降LRTの活用も含め広い視野で検討していきます。

問 子供の出生数として7、8年前には150人ほどいたものが100人まで減ってきた。この先50人以下になる予測がされている。今やっている政策で少子化は止められるか。

答 **企画課長** 実際に改善するかというと国の施策に沿って実施していますが、自治体によって差が出ます。国の施策に沿って実施していくということが正しいと思っております。

1人を支えなければならぬ状況になる。町内の商業も工業も農業もみんな成り立たなくなっていく可能性がある。今、何をすべきかまずと結論は出てくる。まずは社会増を増やしていく土地政策の見直しが必要ではないか。芳賀町が1万人を割って9000人に減っていくこんな状態未来崩壊を本当に町民は受け入れるのか、そんなことは行政としてやってはいけません。早急な対応をお願いしたい。

最後に 人口が減っていくという事

は働く人もいなくなるという事で、2030年、11年後には従属人口と生産年齢人口が一緒になり1人で



一般質問



増淵 さつき 議員

町の認知症高齢者対策は？ どう増やす、認知症サポーター



▲RUN伴栃木 芳賀町で開催

問 国の推計によると、認知症高齢者は2012年の462万人から、2025年には約700万人に増える

と見込まれている。公表された県内の認知症サポーター養成数では、芳賀町が702人、人口比4.4%、下位に位置している。認知症に対する正しい理解者を増やすための施策をお聞

答 町長 サポーター養成数は平成22年

度から着実に増えており、この半年間で15

8人増え、860人となっています。平成32年度までにサポーター数1000人の目標達成のため、

①みまネット協力事業所44社に、養成講座開催の依頼

②認知症への理解を促す「RUN伴」の来年度開催時や二、三年に一度、新規採用の町職員を中心に養成講座を開催

③毎年中学二年生又は一年生を対象に養成講座を開催するよう教育委員会を通して依頼

子育て支援の充実のために いつまでも待機児童「なし」は続きますか？

問 子育てと仕事の両立のため保育施設がある。芳賀町の待機児童はいないようだが、今後、「祖陽が丘」などへの子育て世代の転入者が増加した場合の対応をお聞きます。

答 教育長 町では、芳賀町子ども・子

④引き続き各種団体や生きがいサロン、シニアクラブ、行政区などでも開催を依頼していきます。

問 認知症の高齢者が徘徊中に事故を起こした場合は賠償責任保険への加入支援事業の導入はどうか。

答 町長 町としては、当面、保険の案内のみとし、近隣市町の状況も見守りながら対応していきます。

子育て支援事業計画に基づき、「子育てを皆で支えあう笑顔あふれるまち」を基本理念として、働きながら安心して子育てができる環境の整備に向けた取組を進めています。町内の保育施設との連携や、近隣の市町との入所協議により、転入されるお子様が保育施設に入所できるよう努めています。

問 芳賀町ファミリーサポートセンターの会員数と利用状況、そして今後の展開は？

答 こども育成課長 まかせて会員9名、おねがいが会員16名、どちらも会員5名、計30名で運営しており、29年度は、合計92回の利用がありました。受け手の会員が少なく要望に受けきれっていない現状にあるため、子どもたちの健やかな成長を地域で援助していく体制について庁内の各課や福祉、保健部門の関係団体とも連携の上、協議していきます。

問 保育園に入園できない子どもを保育する「保育ママ」制度（家庭的保育事業）導入について、町の考えは？

答 教育長 待機児童への対応や、多様な保育ニーズの観点からは有効であると考えますが、町としての待機児童はおりませんので現時点では取り組む予定はありません。



▲芳賀町立祖母井保育園

研修報告

芳賀郡市町議会議員 自治研修会

11月9日、真岡市青年女性会館で芳賀郡市町議会議員自治研修会が行われました。

講師は、防災・危機管理アドバイザーの山村武彦氏で、「大地震！その時どうする〜今日から取り組む防災対策〜」というテーマで講演を聴きました。



栃木県町村議会議員 研修会

11月27日、県自治会館で栃木県町村議会議員研修会が行われました。

講師は、山梨学院大学大学院研究科長法学部教授の江藤俊昭氏と首都大学東京教授の山下祐介氏で、江藤氏から「議会改革の新たな動向と課題」、「住民自治の根幹としての議会を作動させる」、山下氏から「人口減少時代における自治体のあり方について」というテーマで講演を聴きました。



自治会長と議員の 懇談会を開催

12月13日、道の駅はがで自治会長と議員の懇談会が行われました。宇都宮ライトレール株式会社常務取締役の中尾正俊氏から「宇都宮ライトレールの取り組み」についての講演を聴き、

宇都宮ライトレールについての認識をさらに深めることができました。



農業委員会と議員の 懇談会を開催

12月21日、役場大会議室で農業委員会と議員の懇談会が行われました。まず、町から農業委員会の新たな仕組みと役割、こ

れからの町の農業政策等について説明を聞きました。農業委員からは現状と課題について意見が、議員からは活発な質問が出されました。



芳賀北部広域行政 推進協議会研修会

1月17日、芳賀郡4町の正副議長、常任委員長で構成される芳賀北部広域行政推進協議会研修会が、茨城県行方市の「なめ

がたファーマーズビレッジ」で行われました。この施設は、廃校の有効活用として、さつまいもをメインとした加工工場やミュージアム、ショップ、レストラン等が集まる施設になっています。平日にもかかわらず多くの人で賑わっていました。



視察来訪

千葉県東庄町議会

文教福祉常任委員会来町

5月14日、千葉県東庄町議会文教福祉常任委員会、まちづくり課、健康福祉課、議会事務局の9人が「廃校活用状況について」の調査のため来町し、芳賀町シルバー人材センターを視察しました。町では、石川保議長、大島浩総務常任委員長が出席し、総務課管財係の担当職員が芳賀町の廃校活用状況について説明しました。



群馬県吉岡町議会

総務常任委員会来町

7月3日、群馬県吉岡町議会総務常任委員会、議長、総務政策課、議会事務局の8人が「デマンド交通の活用状況について」の調査のため来町し、ひばりタクシー予約センターを視察しました。町では、石川保議長、小林俊夫産業建設常任委員会副委員長が出席し、都市計画課公共交通係の担当職員がふれあいタクシーについての説明しました。



千葉県芝山町・多古町議会

連絡協議会来町

10月3日、千葉県芝山町議会・多古町議会連絡協議会、両町議会事務局の26人が「LRT事業導入経緯について」の調査のため来町しました。町では、石川保議長、見目匡町長、小林俊夫産業建設常任委員会副委員長が出席し、都市計画課公共交通係の担当職員がLRT事業、芳賀町・宇都宮における交通の現状などLRT事業導入経緯について説明しました。



埼玉県川島町議会

経済建設常任委員会来町

10月19日、埼玉県川島町議会経済建設常任委員会、議長、副議長の7人が「LRT事業の経緯、今後の予定について」の調査のため来町しました。都市計画課公共交通係の担当職員がLRT事業導入の経緯、今後の予定などについて説明しました。





豊田 理桜さん
(下延生)

若者の力で芳賀町を活性化

私は、これまでずっと芳賀町に住み無事に成人を迎えることができたのは、家族、そしてあたたかく見守ってくださいました地域の皆様の力があつたからです。この場をおかりして感謝を申し上げます。

芳賀町の人口は年々減少し、高齢化率は約30%であると聞きました。人口が減少し、若者も減っている状況は芳賀町の将来にとって不利なことだと思います。そこで、例えば“私たち若者を主体とするチームで新しいイベントを企画し運営する”のような地域おこしができればと思います。若者が町のイベントに携わることで町への愛郷心が芽生え、また芳賀町に戻ってきてくれると考えます。そして、若者がイベントに携わることで若者目線のイベントができ、町外からの人も集まってきて、町がさらに活性化することを望みます。だから、そのような企画をぜひ検討していただきたいです。

私たちをすくすく育ててくださった芳賀町に今度は私たちがお返りする番だと思います。後世の子供たちにこの素晴らしい芳賀町を残せるよう、町が一体となって考えていく必要があると私は感じています。



綱川 琴絵さん
(給部)

これからの芳賀町

私は大学進学までの18年間を芳賀町で過ごしました。約2年間芳賀町を離れたことで、改めて気づくことができました。

芳賀町は美味しい果物や野菜が育つ、自然豊かで心落ち着く土地です。その一方で町内には文化的・娯楽施設が少なく、気軽に様々な体験をすることが難しいと感じます。実際、遊びや習い事のために時間をかけて町外へ行く人は多いのではないのでしょうか。今後はLRTの開通によって、町内外への移動が便利になります。同時に町内施設を充実させることで長距離移動が負担となる高齢者の楽しみが増える、若い層が町に留まるなどの効果があり、より活気のある町になるのではないかと思います。

長い間支えてきてくれた家族や友人が住んでいる愛着のある芳賀町が、さらに住みやすく魅力的な町になることを願っています。



和久 晋太郎さん
(西水沼)

自慢の帰省先・芳賀町

社会に生きる人びとを取り囲む現実には、生々しく、渾沌としている。

宮城県仙台市の大学に通う私は、サークルに所属しボランティア活動を行っています。東日本大震災を中心に、熊本地震や西日本豪雨の支援を行う中で多くの地域住民の方々に出会いました。仮設住宅の自治会長や輪の中心にいる住民の方々は、優しく・強く、生き生きとしていました。しかし、一方でその方達の生活は困難な状況にありました。固より存在した経済的、福祉的そしてご家族の問題が顕在化し、復興への見通しが立たない方も多くいたのです。私は、その元気なお姿と息苦しい環境との間にギャップを感じ、現実を突き付けられたように感じました。

私の生まれ育った芳賀町。この芳賀町ではどれほどの社会課題が潜み、人を、町を悩ませているのでしょうか。町民それぞれが自らの生活に努め、周りもそれをサポートするような雰囲気・仕組みがより整った、自慢の芳賀町にまた帰省したいです。

議会日誌

11月

- 6日・芳賀北部広域行政推進協議会要望活動
- 9日・芳賀郡市町議会議員自治研修会
 - ・総務常任委員会
 - ・産業建設常任委員会
- 11日・町民祭
 - ・赤羽有紀子ロード梨の里マラソン大会
- 12日・教育民生常任委員会
- 17日・芳賀町消防団通常点検
- 20日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・町村議会議長全国大会
- 22日・芳賀郡市町議会議長会定例会
- 25日・町剣道大会
- 26日・議会運営委員会
 - ・議員全員協議会
- 27日・町村議会議員研修会
- 30日・商工会と芳賀町工業団地連絡協議会との交流会

12月

- 2日・HAGA グルミネーション2018
- 3日・第4回芳賀町議会定例会（～6日）
 - ・議会広報常任委員会
- 8日・人権のつどい・生涯学習講演会
- 13日・自治会長との懇談会
- 14日・芳賀地区広域行政事務組合出納検査
- 16日・はが路ふれあいマラソン
- 20日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・農業委員会との懇談会
- 25日・芳賀地区広域行政事務組合議会定例会
- 26日・町国民健康保険運営協議会

1月

- 5日・消防団新年懇談会
- 9日・新春賀詞交歓会
- 11日・都市計画審議会
- 13日・成人式
- 16日・町国民健康保険運営協議会
- 17日・芳賀北部広域行政推進協議会研修会
 - ・議会広報常任委員会
- 18日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
 - ・芳賀町工業団地連絡協議会賀詞交換会
- 22日・例月現金出納検査
- 25日・芳賀郡市監査委員研修会
 - ・議会広報常任委員会
- 29日・町農業振興対策推進協議会

議会だよりは ホームページでも 公開しています

本会議の会議録をはじめ、議会情報も随時お知らせしています。

掲載しきれなかった一般質問は、会議録で見られます。アクセスしてみてください。

スマホや
タブレット
でも！



芳賀町議会

検索

編集室

平成も残り数カ月となり、振り返れば自然災害の多い時代のように入ります。今でも災害の復興が進まず、元の生活を取り戻せない人が沢山います。一日でも早く元の生活ができるように願うばかりです。日ごろ何気ない生活ができることに感謝します。今年も、2月に芳賀町東部住宅団地「祖陽が丘」の分譲が開始されます。3月は新芳賀赤十字病院が開院となり、4月からひ

ばりタクシーも病院まで乗り入れします。また、LRT事業は道路の工事へと進み、実現への期待が高まります。

議会広報常任委員会は、読みやすく、親しみやすい議会だよりを目指しています。また、皆さまの議会傍聴をお待ちしております。

(副委員長 大根田 弘)

■議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小林 俊夫 |
| 副委員長 | 大根田 弘 |
| 委員 | 岡田 年弘 |
| 委員 | 石川 保 |
| 委員 | 北條 勲 |



▲どんど小屋(東水沼)